



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 栗田工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6370 URL <http://www.kurita.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 道也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 晋一 (TEL) 03(6743)5054  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年11月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	108,107	4.1	10,153	5.3	10,274	6.6	7,412	13.3
29年3月期第2四半期	103,811	6.0	9,643	5.6	9,639	1.6	6,542	13.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 8,771百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △2,240百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	65 99	—
29年3月期第2四半期	56 36	—

(注) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式(取締役に対する業績連動型株式報酬信託分)を、1株当たり四半期純利益算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	300,093	229,366	76.0
29年3月期	299,249	228,758	76.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 228,210百万円 29年3月期 227,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25 00	—	25 00	50 00
30年3月期	—	26 00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	26 00	52 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.4	21,000	8.0	21,500	7.1	15,000	3.4	133 57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料12ページの「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	116,200,694株	29年3月期	119,164,594株
30年3月期2Q	3,925,381株	29年3月期	4,890,513株
30年3月期2Q	112,332,605株	29年3月期2Q	116,083,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) が所有する当社株式 (取締役に対する業績連動型株式報酬信託分) が30年3月期2Qは333,566株、29年3月期は339,800株含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項は添付資料6ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報)	13
3. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 当第2四半期の概況(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

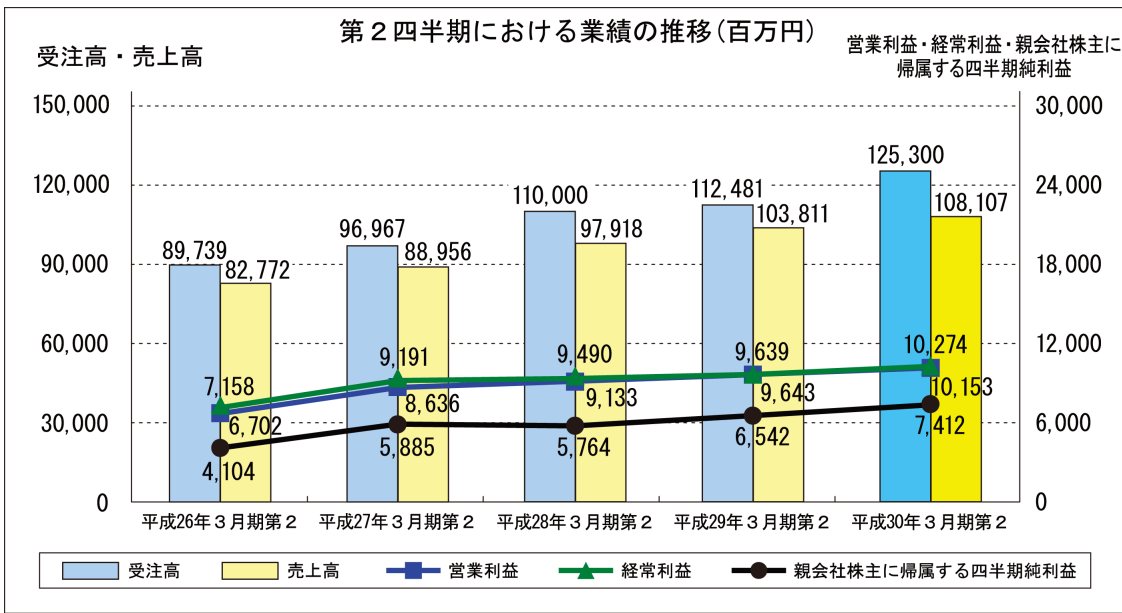
当社グループを取り巻く市場環境は、国内では個人消費や輸出の回復により、製造業の生産活動や設備投資は持ち直しの動きがみられました。

海外では、米国及び欧州では景気回復が続き、中国をはじめとした新興国経済も堅調に推移しました。

このような状況のもとで、当社グループは、IT・センシング技術を活用した競争力のある商品・サービスの開発と市場展開に取り組むとともに、環境負荷低減、省エネルギー、生産性向上など顧客の課題解決に貢献する提案を推進しました。また、米国において買収したフレモント・インダストリーズ, LLCの経営成績を第1四半期連結会計期間から新規に連結しました。

以上の結果、当社グループ全体の受注高は125,300百万円(前年同期比11.4%増)、売上高は108,107百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

利益につきましては、営業利益10,153百万円(前年同期比5.3%増)、経常利益10,274百万円(前年同期比6.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,412百万円(前年同期比13.3%増)となりました。



2) セグメント別の概況

当社グループは、「水処理薬品事業」及び「水処理装置事業」の2つをセグメント情報における報告セグメントとしております。

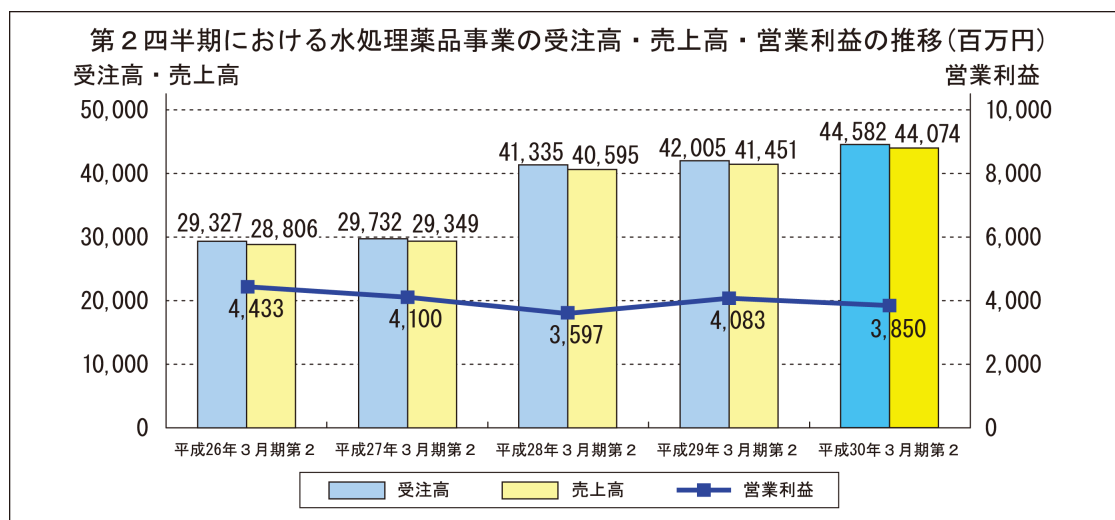
①水処理薬品事業

受注高・売上高につきましては、国内では、顧客工場の操業度回復や新商品・新サービスを活用した課題解決提案により新規の顧客開拓に努めたことにより、主力商品のボイラ薬品、冷却水薬品が増加したことに加え、紙パルプ向けプロセス薬品及び鉄鋼向けプロセス薬品も伸長し、受注高・売上高はともに増加しました。

海外では、買収した米国子会社の経営成績を第1四半期連結会計期間から新規に連結したことにより、受注高・売上高ともに増加しました。

この結果、当社グループの水処理薬品事業全体の受注高は44,582百万円（前年同期比6.1%増）、売上高は44,074百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

利益につきましては、増収による増益要因がありましたが、販売費及び一般管理費が増加し営業利益は3,850百万円（前年同期比5.7%減）となりました。



②水処理装置事業

国内では、電子産業分野向けの水処理装置の受注高は、大型案件の受注により増加し、売上高は、前連結会計年度に受注した大型案件の工事進捗により増加しました。メンテナンス・サービスの受注高・売上高は、顧客工場の操業度上昇を背景とした増設、改造案件の受注により、ともに増加しました。

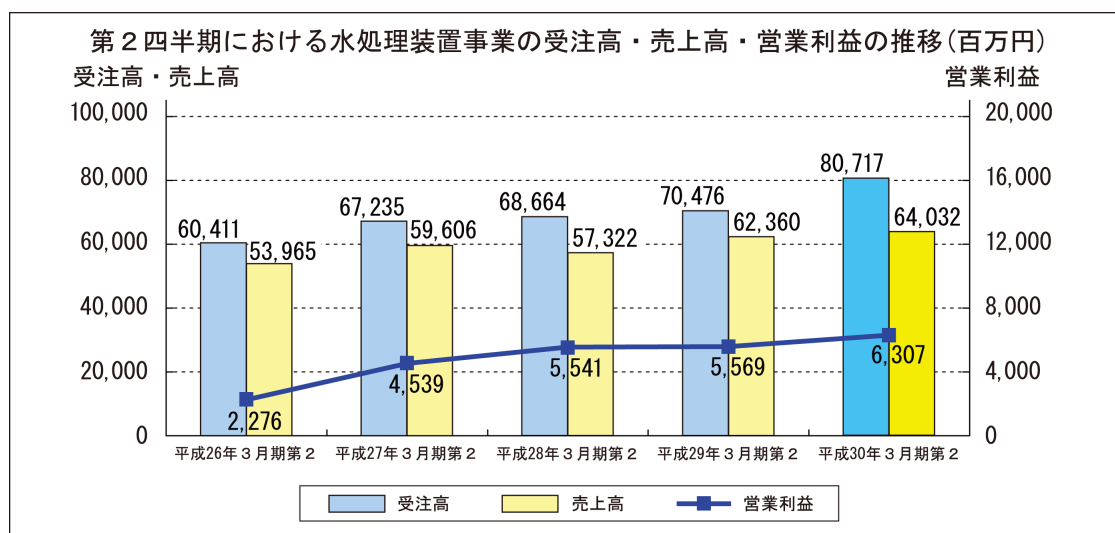
一般産業分野向けの水処理装置は、受注高・売上高ともに減少しましたが、メンテナンス・サービスの受注高・売上高は、顧客工場の設備更新や増設案件を中心に増加しました。電力分野向け水処理装置の受注高は減少しましたが、売上高は増加しました。土壌浄化の受注高は、大型案件の受注により増加しましたが、売上高は、前連結会計年度の大型案件の売上計上の反動で減少しました。

海外では、受注高は、中国及び韓国的大型案件の受注により大幅に増加し、売上高も前連結会計年度に受注した案件の工事進捗により増加しました。

なお、超純水供給事業の国内及び海外を合わせた売上高は、増設案件の収益計上があったものの、前連結会計年度における一部顧客との契約変更による減収の影響があり、減少しました。

これらの結果、当社グループの水処理装置事業全体の受注高は、80,717百万円（前年同期比14.5%増）、売上高は、64,032百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

利益につきましては、増収となったことに加え、工事案件の工程・原価管理の徹底により収益性が改善したことなどにより営業利益は6,307百万円（前年同期比13.3%増）となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

### 1) 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期末における流動資産は、153,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,354百万円減少しました。これは主に、売掛金が1,610百万円、仕掛品が1,419百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金と有価証券を合わせた手元資金が5,805百万円減少したことによるものであります。売掛金の増加は、主に当第2四半期連結累計期間の売上水準が堅調に推移したことによるものであります。仕掛品の増加は、主に水処理装置事業の工事進捗によるものであります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元資金の減少は、主に自己株式を市場買付等により5,588百万円取得したことによるものであります。

固定資産は、146,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,198百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が2,299百万円、投資その他の資産が1,263百万円それぞれ増加したことによるものであります。有形固定資産の増加は、主に超純水供給事業用設備等の設備投資額が減価償却費を上回ったことによるものであります。投資その他の資産の増加は、主に保有する株式の時価上昇により投資有価証券の含み益が増加したことによるものであります。

流動負債は、44,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円増加しました。これは、主に流動負債のその他が設備投資に係る未払金の増加等により906百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、25,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円減少しました。

純資産合計は、229,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ608百万円増加しました。これは主に、株主資本が1,026百万円減少した一方で、その他の包括利益累計額が1,614百万円増加したことによるものであります。株主資本の減少は、利益剰余金が3,978百万円減少した一方で、自己株式が2,951百万円減少（純資産は増加）したことによるものであります。利益剰余金の減少は、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により7,412百万円増加した一方で、前連結会計年度の期末配当金2,865百万円及び自己株式の消却8,525百万円により11,390百万円減少したことによるものであります。自己株式の減少（純資産の増加）は、市場買付等により5,588百万円増加した一方で、消却等により8,539百万円減少したことによるものであります。その他の包括利益累計額の増加は、主に繰延ヘッジ損益が797百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の含み益増加に伴い1,477百万円、為替換算調整勘定が円安ユーロ高に伴い939百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### 2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は57,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,648百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、10,957百万円（前年同期比5,311百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益10,480百万円、減価償却費8,209百万円（のれん償却費561百万円を含む）などで資金が増加したことに対し、売上債権の増加額2,197百万円、たな卸資産の増加額1,769百万円、仕入債務の減少額1,371百万円、法人税等の支払額2,911百万円などで資金が減少したことによるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、9,597百万円（前年同期比13,069百万円増）となりました。これは主に、定期預金の預入と払戻による差引支出1,841百万円、超純水供給事業用設備等の有形固定資産の取得による支出7,111百万円などで資金を使用したことによるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、9,040百万円（前年同期比4,946百万円増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出5,588百万円及び配当金の支払額2,882百万円によるものであります。



(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績につきましては、平成29年10月24日発表の業績予想の修正に関するお知らせに記載のとおり、以下の通り修正しております。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

(連結業績予想)

平成30年3月期 連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	223,000	18,500	19,000	13,000	115.76
今回修正予想(B)	230,000	21,000	21,500	15,000	133.57
増減額(B-A)	7,000	2,500	2,500	2,000	17.81
増減率(%)	3.1	13.5	13.2	15.4	15.4
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	214,187	19,452	20,074	14,506	125.23

四半期業績の推移は以下に記載のとおりであります。

○参考情報

四半期業績の推移

(単位：百万円)

	平成28年3月期				平成29年3月期				平成30年3月期			
	第1	第2	第3	通期	第1	第2	第3	通期	第1	第2	通期予想	
受注高	水処理薬品	19,348	41,335	62,133	83,440	21,016	42,005	61,246	82,118	22,157	44,582	89,500
	対通期比(%)	23.2	49.5	74.5	100.0	25.6	51.2	74.6	100.0	24.8	49.8	100.0
	水処理装置	34,675	68,664	97,094	137,832	35,309	70,476	100,868	136,611	45,891	80,717	148,500
対通期比(%)	25.2	49.8	70.4	100.0	25.8	51.6	73.8	100.0	30.9	54.4	100.0	
合計	54,023	110,000	159,228	221,273	56,326	112,481	162,115	218,730	68,048	125,300	238,000	
対通期比(%)	24.4	49.7	72.0	100.0	25.8	51.4	74.1	100.0	28.6	52.6	100.0	
売上高	水処理薬品	18,356	40,595	62,060	83,680	20,137	41,451	61,276	81,883	21,061	44,074	89,400
	対通期比(%)	21.9	48.5	74.2	100.0	24.6	50.6	74.8	100.0	23.6	49.3	100.0
	水処理装置	24,136	57,322	86,801	130,692	26,249	62,360	90,810	132,304	27,238	64,032	140,600
対通期比(%)	18.5	43.9	66.4	100.0	19.8	47.1	68.6	100.0	19.4	45.5	100.0	
合計	42,493	97,918	148,862	214,372	46,386	103,811	152,086	214,187	48,300	108,107	230,000	
対通期比(%)	19.8	45.7	69.4	100.0	21.7	48.5	71.0	100.0	21.0	47.0	100.0	
営業利益	3,134	9,133	14,040	19,833	3,748	9,643	13,646	19,452	3,520	10,153	21,000	
対通期比(%)	15.8	46.0	70.8	100.0	19.3	49.6	70.2	100.0	16.8	48.3	100.0	
経常利益	3,535	9,490	14,735	20,439	3,804	9,639	14,104	20,074	3,598	10,274	21,500	
対通期比(%)	17.3	46.4	72.1	100.0	18.9	48.0	70.3	100.0	16.7	47.8	100.0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,348	5,764	9,314	12,577	2,645	6,542	10,144	14,506	2,483	7,412	15,000	
対通期比(%)	18.7	45.8	74.1	100.0	18.2	45.1	69.9	100.0	16.6	49.4	100.0	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,750	66,955
受取手形	7,843	8,525
売掛金	60,439	62,049
有価証券	603	593
製品	3,114	3,386
仕掛品	4,181	5,600
原材料及び貯蔵品	2,229	2,341
その他	5,016	4,396
貸倒引当金	△246	△272
流動資産合計	155,930	153,576
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	13,203	11,895
機械及び装置（純額）	35,936	36,213
その他（純額）	24,896	28,226
有形固定資産合計	74,036	76,335
無形固定資産		
のれん	15,049	15,053
その他	10,259	9,892
無形固定資産合計	25,308	24,945
投資その他の資産		
投資有価証券	34,844	36,917
その他	9,317	8,509
貸倒引当金	△189	△190
投資その他の資産合計	43,972	45,235
固定資産合計	143,318	146,516
資産合計	299,249	300,093
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,710	1,964
買掛金	21,715	20,602
未払法人税等	2,875	2,989
賞与引当金	2,361	2,742
その他の引当金	883	799
その他	14,863	15,769
流動負債合計	44,410	44,868
固定負債		
退職給付に係る負債	16,054	16,341
引当金	25	86
その他	9,999	9,429
固定負債合計	26,080	25,858
負債合計	70,490	70,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,450	13,450
資本剰余金	10,993	10,993
利益剰余金	205,586	201,608
自己株式	△13,891	△10,940
株主資本合計	216,138	215,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,792	16,269
繰延ヘッジ損益	670	△127
土地再評価差額金	△380	△380
為替換算調整勘定	△3,593	△2,654
退職給付に係る調整累計額	△3	△8
その他の包括利益累計額合計	11,484	13,098
非支配株主持分	1,135	1,155
純資産合計	228,758	229,366
負債純資産合計	299,249	300,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	103,811	108,107
売上原価	69,487	71,575
売上総利益	34,324	36,532
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	8,925	9,487
賞与引当金繰入額	1,469	1,465
研究開発費	2,433	2,554
その他	11,851	12,871
販売費及び一般管理費合計	24,680	26,378
営業利益	9,643	10,153
営業外収益		
受取利息	99	94
受取配当金	258	281
持分法による投資利益	89	72
その他	226	286
営業外収益合計	673	734
営業外費用		
支払利息	93	209
為替差損	375	171
その他	208	232
営業外費用合計	677	612
経常利益	9,639	10,274
特別利益		
投資有価証券売却益	-	206
特別利益合計	-	206
税金等調整前四半期純利益	9,639	10,480
法人税等	3,022	3,015
四半期純利益	6,616	7,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,542	7,412

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	6,616	7,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,555	1,471
繰延ヘッジ損益	882	△798
為替換算調整勘定	△6,049	656
退職給付に係る調整額	50	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△186	△17
その他の包括利益合計	△8,857	1,306
四半期包括利益	△2,240	8,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,239	8,732
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	39

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,639	10,480
減価償却費	7,545	7,648
のれん償却額	507	561
引当金の増減額(△は減少)	301	382
売上債権の増減額(△は増加)	5,460	△2,197
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,290	△1,769
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,584	△1,371
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	354	234
法人税等の支払額	△4,038	△2,911
その他	372	△99
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,268	10,957
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,476	△9,533
定期預金の払戻による収入	22,340	7,692
有形固定資産の取得による支出	△4,818	△7,111
有形固定資産の売却による収入	10	30
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	9	286
事業買収に伴う支出	△54	△137
その他の支出	△703	△913
その他の収入	170	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,472	△9,597
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△171	—
長期借入金の返済による支出	△11	△250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△323	△322
自己株式の売却による収入	—	4
自己株式の取得による支出	△782	△5,588
配当金の支払額	△2,787	△2,863
非支配株主への配当金の支払額	△16	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,094	△9,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,222	32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,424	△7,648
現金及び現金同等物の期首残高	43,591	65,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,016	57,789

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

①平成29年2月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,004,400株を取得しております。この結果、自己株式が5,586百万円増加しております。

②平成29年3月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を以下のとおり消却しております。この結果、株主資本合計には影響ありませんが、自己株式が8,525百万円減少(株主資本の増加)し、利益剰余金が同額減少しております。

1) 消却した株式の種類

当社普通株式

2) 消却した株式の数

2,963,900株

3) 消却額

8,525百万円

4) 消却日

平成29年4月6日

5) 消却後の発行済株式総数

116,200,694株

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,451	62,360	103,811	—	103,811
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120	106	227	△227	—
計	41,572	62,466	104,039	△227	103,811
セグメント利益	4,083	5,569	9,653	△9	9,643

(注) 1. 調整額のうち売上高は、セグメント間取引消去額であり、セグメント利益は、セグメント間取引消去に伴うものであります。

2. セグメント利益欄は、営業利益の数値であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,074	64,032	108,107	—	108,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	128	330	△330	—
計	44,276	64,161	108,438	△330	108,107
セグメント利益	3,850	6,307	10,158	△5	10,153

(注) 1. 調整額のうち売上高は、セグメント間取引消去額であり、セグメント利益は、セグメント間取引消去に伴うものであります。

2. セグメント利益欄は、営業利益の数値であります。



### 3. 補足情報

#### (1) 受注高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	42,005	37.3%	44,582	35.6%
水処理装置事業(百万円)	70,476	62.7	80,717	64.4
合計(百万円)	112,481	100.0	125,300	100.0

#### (2) 売上高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	41,451	39.9%	44,074	40.8%
水処理装置事業(百万円)	62,360	60.1	64,032	59.2
合計(百万円)	103,811	100.0	108,107	100.0

#### (3) 設備投資額(有形固定資産)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	862	22.6%	917	10.4%
水処理装置事業(百万円)	2,951	77.4	7,901	89.6
合計(百万円)	3,813	100.0	8,819	100.0

#### (4) 減価償却費(有形固定資産)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	784	11.6%	843	12.8%
水処理装置事業(百万円)	5,954	88.4	5,744	87.2
合計(百万円)	6,738	100.0	6,588	100.0